

下野竜也、平和を謳うベートーヴェン「第九」 衝撃のシェーンベルク「ワルシャワの生き残り」とともに

シェーンベルク：ワルシャワの生き残りop.46

— 語り、男声合唱と管弦楽のための（語り：宮本益光）

ベートーヴェン：交響曲第9番二短調「合唱付」op.125

Schönberg：A Survivor from Warsaw op.46

— for Narrator, Men's Chorus and Orchestra (Narrator：Masumitsu Miyamoto)

Beethoven：Symphony No.9 in D minor "Choral" op.125

日本語
字幕付

特別演奏会

京都市交響楽団

The Special Concert of the Kyoto Symphony Orchestra
"The 9th Symphony of Beethoven"

指揮 下野 竜也 (常任首席客演指揮者)

Conductor：Tatsuya Shimono (Principal Guest Conductor)

©Naoya Yamaguchi

合唱 京響コーラス
Chorus：Kyoto Symphony Chorus



ソプラノ 吉原 圭子
Soprano：Keiko Yoshihara



メゾソプラノ 小林 由佳
Mezzosoprano：Yuka Kobayashi



テノール 吉田 浩之
Tenor：Hiroyuki Yoshida
©Kyota Miyazono



バリトン 宮本 益光
Baritone：Masumitsu Miyamoto

入場料 **■**¥5,500 **△**¥4,500 **□**¥3,500

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 **■**¥2,500 **△**¥2,000 **□**¥1,500

※学生券は開演1時間前から発売（席種は選べますが、座席指定はできません／学生証をご提示ください）。

※本公演では休憩がないため、後半券の発売はありません。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/12月20日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド(電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231
- ルームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入… <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード349-206
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード58101

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>



©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

第九

コンサート

2018

12/27(木)・12/28(金)

Thursday, December 27, 2018 / 7:00PM

Friday, December 28, 2018 / 7:00PM

午後7時開演
(午後6時開場)

京都コンサートホール
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



京都市交響楽団

特別演奏会

The Special Concert of
the Kyoto Symphony Orchestra
"The 9th Symphony of Beethoven"

第九

下野竜也の指揮のもと、年末恒例の「第九」とともに、12音技法の創始者シェーンベルクの「ワルシャワの生き残り」を。男声合唱と管弦楽にシュプレヒシュティンメ（語るような歌唱法）で歌われる語りを交え、第2次世界大戦中のホロコーストの惨劇を強烈に描いた衝撃のドラマが、深い悲しみを乗り越えて、世界平和を謳うベートーヴェンの「歓喜の歌」へと厳かに導きます。

下野 竜也 (常任首席客演指揮者)

Conductor : Tatsuya Shimono (Principal Guest Conductor)

指揮



©伊藤 英

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮者として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ロワール管、シュツットガルト放送響、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月~2013年3月)を経て、同団首席客演指揮者(2013年4月~2017年3月)を務めた。その間、2011年に広島ウィンドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月からは同団常任首席客演指揮者に就任。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

京響コーラス

Chorus : Kyoto Symphony Chorus

合唱

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響常任指揮者 & 音楽監督・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、12年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約150名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 10/12(金)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 10/12(金)から発売!

特別演奏会 「ニューイヤーコンサート」

高関健のタクトが踊るワルツ&ポルカで新年を!
麗しきウィーンの調べ〜ヨハン2世&ヨーゼフ・シュトラウス名作集

日時: 2019年1月13日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 高関 健 (常任首席客演指揮者)

合唱: 京都市少年合唱団*

曲目: ヨーゼフ・シュトラウス:
ポルカ・マズルカ「おしゃべりな女」 op.144
J.シュトラウス2世: ワルツ「美しく青きドナウ」 op.314*
J.シュトラウス2世: 芸術家のカドリオー op.201
J.シュトラウス2世: ワルツ「ウィーンの森の物語」 op.325 (ほか)



©伊藤 英々子

ソプラノ

吉原 圭子 Soprano : Keiko Yoshihara

洗足学園音楽大学卒業。同大学オペラ研究所修了。イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞(松下賞)受賞、ミラノにて研鑽を積む。第1回ミネルピオ国際音楽コンクール声楽部門第1位。パリ市立シヤトレ劇場の研修を経て、フランスを中心に活躍。これまでに、新国立劇場『ホフマン物語』オランピア、びわ湖ホール「こびと〜王女様の誕生日」王女その他、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「コジ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「リゴレット」ジルダ等で好評を博す。近年では15年神奈川県民ホール開館40周年記念「金閣寺」女、16年新国立劇場「イエヌーファ」ヤノ、17年同「フィガロの結婚」バルバリーナ、「ジークフリート」森の小鳥、18年3月「愛の妙薬」ジャンネット等演じる。コンサートでも、ハイドン「四季」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」第九、モーツァルト「戴冠式ミサ」等のソリストとして好評を得ている。19年1・2月新国立劇場「タンホイザー」に出演予定。二期会会員。



メゾソプラノ 小林 由佳 Mezzosoprano : Yuka Kobayashi

国立音楽大学卒業。同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。文化庁在外研修員としてイタリアにて研鑽を積む。二期会「フィガロの結婚」ケルビーノ、「ナクス島のアリアドネ」作曲家では、優れた歌唱で好評を得る。また二期会「蝶々夫人」スズキ、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラ、「ホフマン物語」ニクラウス、「イドメネオ」イダマンテ、新国立劇場「沈黙」少年、びわ湖ホール「リゴレット」マッドレーナの他、17年二期会「ばらの騎士」ではオクタヴィアンを演じ、絶賛を博す。さらに、同年新国立劇場「ランメルモールのルチア」アリーサ、「椿姫」フローラ、18年4月には開場20周年記念特別公演「アイダ」巫女で出演した。また「第九」や宗教曲等のソリストとしても活躍。本年10月「MOZART SINGERS JAPAN」CD(コジ・ファン・トゥッテ)をリリース。19年1月A.パッティストーニ指揮「千人の交響曲」に出演予定。二期会会員。



テノール

吉田 浩之 Tenor : Hiroyuki Yoshida

瑞々しく伸びやかな美声と叙情性豊かな表現力で聴衆を魅了し、高い評価を受けている我が国が誇るリリコ・レッジャーロ・テノール。《こもり》アルフレード役でオペラ・デビュー、以来、新国立劇場《トリスタンとイゾルデ》《フィデリオ》、日生劇場《魔笛》《ルル》、びわ湖ホール《サロメ》など数々の公演に出演。ミサ曲、オラトリオ等のソリストとしても卓越した歌唱に定評があり、木下征恒、大野和士、チョン・ミョンファン、クリスティアン・アルミンク等の指揮のもと、国内外のオーケストラと共演している。国立音楽大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院オペラ科修了。1990年、モーツァルト没後200周年記念国際モーツァルト声楽コンクール本選入賞。翌1991年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてローマに留学。1997年には第25回ジロー・オペラ賞新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部声楽科教授。福井県敦賀市出身。最新CDは日本歌曲とイタリア歌曲の名曲を集めた「proprio」。



Hiroyuki Yoshida

バリトン

宮本 益光 Baritone : Masumitsu Miyamoto

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学術(音楽)博士号取得。03年「欲望という名の電車」スタンリーで一躍注目を集め、以後、二期会「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「こもり」ファルケ、新国立劇場「鹿鳴館」清原栄之輔、日生劇場「メデア」イヤソン、神奈川県民ホール開館40周年記念「金閣寺」溝口、同「魔笛」パパゲノ等話題の公演で活躍。また演奏のみならず、作詞、訳詞、執筆、企画、演出等でも多彩な才能を発揮、創造性溢れるステージで聴衆を魅了している。NHK「らららクラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会21」等メディアにも出演。詩集「もしも歌がなかったら」、CD「うたうたう 信長貴富歌曲集」等多数リリース。また「MOZART SINGERS JAPAN」を主宰、本年10月にはCD「コジ・ファン・トゥッテ」をリリース。19年2月二期会・フランス国立ラン歌劇場共同制作「金閣寺」溝口で主演予定。二期会会員。



入場料 S ¥5,500 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,500 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)